

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

2020年7月31日

大分県知事  
広瀬 勝貞 殿

提出者  
住 所 大分県佐伯市東浜1番6号  
氏 名 興人ライフサイエンス株式会社 佐伯工場  
工場長 寺田 行宏  
電話番号 0972-22-1050

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	興人ライフサイエンス株式会社 佐伯工場
事業場の所在地	大分県佐伯市東浜1番6号
計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日 (令和1年)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16 化学工業
② 事業の規模	前年度の製品出荷額 91億2,400万
③ 従業員数	164名 (2020年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	※ 別紙1参照

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
※別紙2参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3参照
	排 出 量	合計 4,962 t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度は、動植物性残渣が新商品の試作や設備不具合により増加したことと汚泥減容が予定通り行えなかったことにより増加したことで前年度より約500t/年増加した。その他の種類の産業廃棄物は前年よりも削減した。</li> </ul>	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3参照
	排 出 量	合計4,813 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物性残さは、引き続き改善に取り組み、発生量の削減を目指す。排水汚泥については、プロセス側の排水管理を進め、新排水処理設備の安定運転をはかり、抑制を目指す。</li> </ul>	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属くず、廃油、紙くずなど有価物を分別管理している。</li> </ul>
② 計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

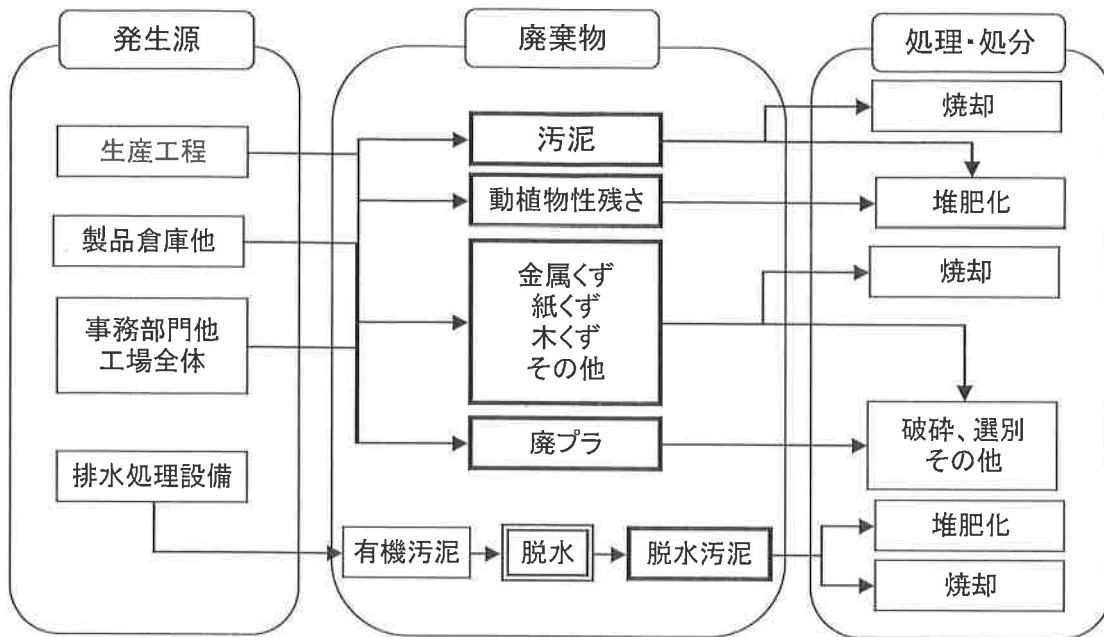
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2019年度）実績】 ※別紙4参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	4,962 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	472 t	t
	再生利用者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・動植物性残さは、引き続き改善に取り組み、発生量の削減を目指す。排水汚泥については、プロセス側の排水管理を進め、新排水処理設備の安定運転をはかり、抑制を目指す		

② 計画	【2019年度 目標】※別紙4参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	4,813 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	457 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	し
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・2020年度汚泥、動植物性残さの発生量を2018年度並み削減するよう に取り組む。 ・2019年度も電子マニフェストを継続利用中であり、2020年度も活 用する。 ・委託先の処理業者への定期的な現地確認を実施する。		
※事務処理欄			

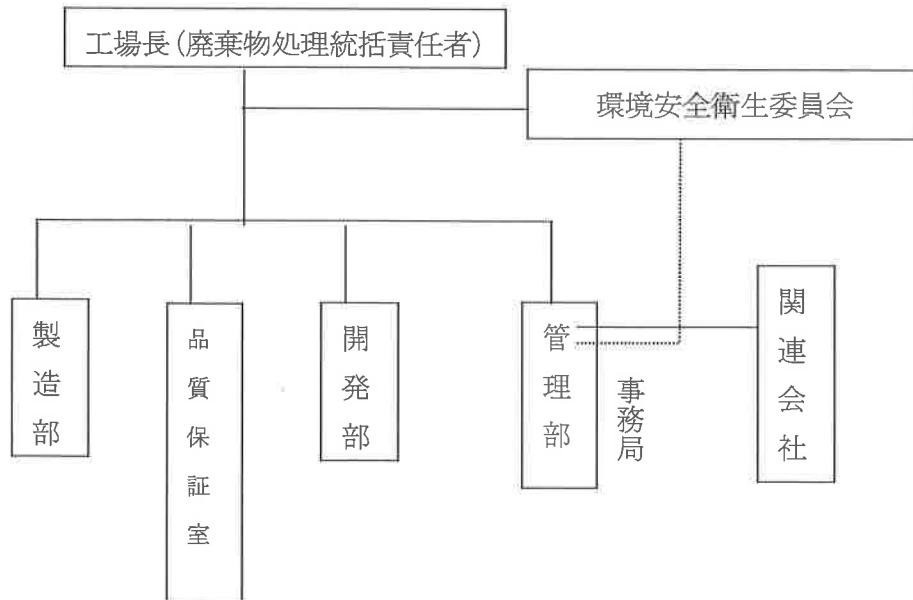
別紙 1 (第 1 面) 関係 : ④産業廃棄物の一連の処理の工程



※処理・処分については全て委託処理

統括責任者		所 属：佐伯工場	職：工場長
廃棄物担当		組織名：管理部 組織人数：3人	職：部長
役割	工場環境 管理委員会	廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長＝工場長 ・委員＝関連部長及び担当マネジャー ・事務局＝管理部	
	廃棄物処理 統括責任者	廃棄物処理方針の策定 工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認	
	廃棄物担当	廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 委託契約の締結 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 監督官庁への各種報告 社員、関連会社に対する教育・啓発 その他関係する事項	

廃棄物管理組織







品目	処分受託者	処分量(t) 運輸受託者別	合計(t)	※電子、紙マニフェスト集計値(特管の重複分は電子を優先)
燃えがら	異業種エコタウン	0	0.00t	※紙M
汚泥	太平洋セメント	94.81	3,676.57	※紙M
		96.7		
	サンテツ	2,746.06		
	シセイ・アグリ	164.43		
	ダイナン	170.21		
	アサヒ産業	365.52		
	リマテック九州	8.86		
アサヒブリテック	0.20			
異業種エコタウン	29.78	※紙M		
廃酸	リマテック九州	0	0.00t	
廃アルカリ	アサヒブリテック	0	0.17t	
	リマテック九州	0.17		
廃プラスチック	アサヒ産業	88.31	88.31t	
紙くず	アサヒ産業	2.60	2.60t	
木くず	アサヒ産業	8.38	8.38t	
動植物性残渣	サンテツ	1,089.99	1,089.99	
	アサヒ産業	0		
金属くず	アサヒ産業	2.05	2.05t	
ガラス陶磁器くず	アサヒ産業	3.70	3.70t	
がれき類	アサヒ産業	0.48	0.48t	
廃油	リマテック九州	88.63	88.762t	
	アサヒ産業	0.092		
	アサヒブリテック	0.04		
ゴムくず	アサヒ産業	0	0.0t	
照明機器	ジェイ・リライツ	0.20	0.20t	
廃油※	リマテック九州	0.30	0.3005t	
	アサヒブリテック	0.0005		
廃酸※	リマテック九州	0	0.27t	
	アサヒブリテック	0.27		
pH2.0以下の廃酸	アサヒブリテック	0.01	0.01t	
廃アルカリ※	リマテック九州	0.23	0.38t	
	アサヒブリテック	0.15		
合計			4,962.1725	
A列品目※特管				

◎ 優良認定処理業者(上記青字、数値が対象)

許可番号(下6桁)	処分受託者	処分認可場所	認定内容
ゼロゼロ5506	アサヒ産業	大分県	おおいた優良産廃処理業者
ゼロゼロ2742	ダイセキ	北九州市	優良産廃処理業者
ゼロゼロ0503	アサヒブリテック	北九州市	優良産廃処理業者 → 産業廃棄物処分量 → 特別産業廃棄物処分量